

# 市長 さいたま市と台湾との友好政策を聞く 記者会見 台湾にパートナーシップ都市を

5月30日に開催された、市地方記者クラブ向けの記者会見で、県民公論からは、さいたま市と台湾との国際友好関係を育むことについて質問しました。

## ■台湾と縁の深いさいたま市

台湾は、令和2年の新型コロナまん延時期に、本市に大量のマスクを寄贈して下さいました。

また、台湾は本市が進める先進的な安心安全都市推進政策である「セーフコミュニティ」においても、同じアジア地域セーフコミュニティ支援センター連合の一員として、共に推進しています。

平成29年度に実施された、本市のセーフコミュニティ国際認証に向けた事前指導では、台湾の「パイ・ルー」氏が審査委員として、出席されております。

【質問】本市では、ドイツ連邦共和国 マインツ市、ラオス人民民主共和国 ビエンチャン特別市、大韓民国 水原市との間で「パートナーシップ国際都市」としての国際友好関係を締結していますが、台湾台北市をはじめ、本市と縁のある台湾各都市との「パートナーシップ国際都市」締結のお考えはありますか。

## ■台湾都市との締結機運高まれば検討

【市長】本市には6つの姉妹都市と友好都市がございます。加えて、特定分野における国際交流や支援を目的としたパートナーシップ都市が3つあります。

具体的な交流として、ラオスのビエンチャン特別市への水道技術協力事業での交流や、韓国の水原市とドイツのマインツ市においてはスポーツ交流を行っております。

海外都市との交流は、本市の国際化推進においても大変重要であると考えています。

今後、都市間における教育、スポーツ、文化、経済などの特定分野での交流が深まり、相互の機運情勢が図られた際は、パートナーシップ都市としての締結についても検討していくことになると考えております。



## ■台湾と本市との友好関係

【質問】いままでの、本市と台湾との友好関係について、その事例を教えてください。

## ■台湾から多くの方に本市へ

【市長】本市では、これまで、インバウンド事業として、台湾からの誘客のため、台北の国際旅行博における本市のプロモーションや、facebookにおいて観光施設、イベント情報、グルメ等の本市の魅力を台湾向けに発信させていただきました。

台湾からの旅行者は、親日で日本に対する興味・関心が高く、訪日のリピーターも多いことから、今後も多くの方にお越しいただいて、さいたま市の良さを知ってもらえればと考えております。

【質問】本市居住の在日台湾人は何人でしょうか。そのなかで台湾留学生は何人でしょうか。

## ■本市に502名の台湾人が在住

【市長】現在、住民登録をしている台湾の方の数については、5月1日時点で502名でございます。

留学生の数については把握はできておりません。

県民公論社 国際局長 西森 勢  
編集局長 水野臣次

## SCIさいたま市民インター

◆「さいたま市民インターナショナル(SCI)」は、さいたま市民ネットが取り組む「国際協力の活動分野」参加国の友好協会を、さらに発展させて、国同士の横の交流を進め、国際交流をより楽しくカラフルなものにします。

◆参加国(順不同)＝ラオス・台湾・フランス・ウクライナ・タイ・韓国・アメリカ。ほかに興味のある国がありましたら、一緒に友好協会を作って友好親善の民間活動を楽しみましょう！

## 台湾友好協会

◆さいたま市民台湾友好協会は

- ①台湾とさいたま市との観光・文化・芸術交流を促進します。
- ②台湾の観光・文化・芸術を市民に広報します。
- ③台湾旅行を市民に奨励します。 ④台湾人留学生を激励します。
- ⑤台湾の都市とさいたま市との国際パートナーシップ提携を結びます。
- ⑥台湾・日本両国の国交正常化を進めます。